

えっ！！うっそ??



班員 押川心春 植野訓 鬼塚咲枝子
中馬葵 川崎ひなた

指導者 大西圭先生

研究の動機

人間は誰でも責任から逃れたり、他者との衝突を防ぐために嘘をついた経験があると考えますが、それは自分自身や他者にどんな変化や影響をもたらすのか興味を持ったから。

研究の目的

研究を通し、嘘をつくとき人間の身体の変化と心理状態の関係は個人によって異なるのかを明確にする。

先行研究

- ・一般の人は嘘をついたとき手の置く場所にくせが出てしまう
 - ・目や口を覆う
 - ・声のトーンが上がる
 - ・しゃべりすぎる
- など表情や体に関する変化がおこる



研究方法

- ・被写体が嘘をついたときの表情や行動をデータとして記録しておく。
- ・人狼ゲームという嘘を見抜くゲームを使って、クラスの子などに協力してもらい、ゲーム中の様子の個人個人をタブレット端末などで撮影、音量測定機などで測定して、人狼と市民の人の表情の違いや、行動、音量などを見て傾向を見る。



必要な道具

- ・人狼ゲーム
- ・発汗センサー
- ・タブレット(カメラ)
- ・心拍計
- ・脈拍計
- ・脳波計



仮説

嘘をつくことによってでる行動や仕草は性格や人柄に関係するのではないだろうか？



研究計画

4～5月	模擬実験(班員で) 実験に参加してくれるメンバー募集!!!
6～7月	実験開始 結果を踏まえて課題を見つける
夏休み	また新しい仮説を立てて、再度実験を繰り返す
9～10月	実験結果整理 ポスター制作開始
11～12月	ポスター制作 発表準備



参考文献

- ・人はどのようにして嘘を見抜くのか～嘘についての信念との乖離(滝口雄太)
- ・一日平均4回、嘘の種類と見分け方に関する最新研究(Arianna Johnson)